

連携先世界遺産：賀茂別雷神社（上賀茂神社） 水をキーワードにした「賀茂の水まつり」の活性化

上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する。

■受講生

上川 和心（京都産業大学・文化学部・1年生）	谷本 光（龍谷大学・文学部・4年生）
国吉 莉央（京都産業大学・法学部・4年生）	田宮 和瑛（龍谷大学・政策学部・2年生）
篠澤 麻朝（京都産業大学・法学部・1年生）	千國 晃汰（龍谷大学・経済学部・2年生）
清水 胡春（京都産業大学・現代社会学部・1年生）	當喜 彩美（同志社大学・社会学部・4年生）
謝 幸潔（京都先端科学大学・人文学部・1年生）	濱 菜月（同志社大学・文学部・3年生）
菅原 奈緒（京都女子大学・文学部・3年生）	福島 瑞花（同志社女子大学・文学部・3年生）
杉山 優太（京都産業大学・経済学部・3年生）	藤原 大地（京都産業大学・文化学部・1年生）
	眞河 春果（京都産業大学・現代社会学部・1年生）

■担当教員

吉野 秋二（京都産業大学・文化学部・教授）	若松 正志（京都産業大学・文化学部・教授）
-----------------------	-----------------------

活動目的・概要

本授業にて賀茂別雷神社(上賀茂神社)から私たちに提示された課題は「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」でした。また、そのために令和5年7月23日に開催される「賀茂の水まつり」を活性化させることも授業内で明示されました。

受講生として大学、学部、年齢さらには国籍の異なる15名が集まり、水まつりを盛り上げるために様々なアイデアを出し合いました。

以前から続けてきたお茶席のほか、上賀茂神社の境内でスタンプラリーを実施し、各ポイントにミニゲームを設置しました。

また、外部団体の方を招いてパフォーマンスの段取りや、これらの企画の広報活動も行いました。スタンプラリーやパフォーマンスを通じて広い世代の方楽しんでもらうことが出来ました。

今年度の水まつりを通して、更に地域の人々と上賀茂神社を結びつけ、また上賀茂神社の魅力を更に伝えることが出来ました。



ミニゲーム制作



神輿担ぎに参加



参加者への景品受け渡し

◆主な活動

2023.4.23 ガイダンス、上賀茂神社訪問
2023.5.21 インタビュートレーニング
2023.5.27 メンバー決定、企画始動
2023.6.24 佐々木先生宅訪問
2023.7.8 全体ミーティング、最終打ち合わせ
2023.7.21 機材搬入
2023.7.22 水まつり前日準備

2023.7.23 水まつり当日
2023.7.25 機材返却
2023.9.26 成果と課題の発見
2023.11.11 活動報告書編集
2023.11.25 最終成果報告会準備
2023.12.10 成果発表会

活動の成果

スタンプラリー

上賀茂神社の境内の数箇所に水射的や水輪投げなどのミニゲームとスタンプ置き場を設置し、スタンプラリーを開催しました。たくさんの子供達や御家族に来て頂き、119人もの方が一周していただきました！

この企画を通して上賀茂神社についてもっと知って貰いたいと考え、境内の様々な場所を巡ることができるようにスタンプ置き場を設置しました。そして実際にたくさんの方に上賀茂神社内を散策し、楽しんで頂くことが出来ました。



水輪投げ

私たちは、スタンプラリーの一部として水に関するイベントとして水輪投げを行いました。子どもに向けた企画として実施したのですが、結果として子どもたちだけでなく保護者の方々も距離を変えるなどして一緒になって楽しんでいただくことができました。本来の子供達を楽しませるという目的を上回る結果となり、私達自身も充実した時間を過ごすことができ、貴重な経験となりました。



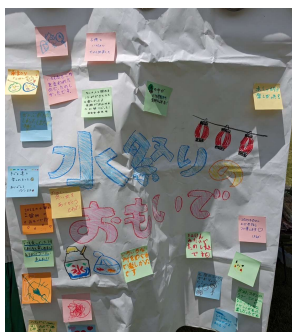
水射的

「水」にまつわるゲームとして、水射的を実施しました。多くの方の目に留まるよう、上賀茂神社の入口付近で行い、お子さんをはじめ実際にたくさんの来場者の方に遊んでいただくことができました。水鉄砲を使いながら、点数の書かれたペットボトルやコップを楽しみつつも真剣に倒す皆さんの様子を見て、私たちも思わず応援に力が入ります。注力したことは、スタンプラリーを開催していること、水まつり全体を隈なく回ってもらうことを必ず伝えることです。水射的が、水まつりを活性化させる一助になったことに誇りを感じます。



思い出ポスター

水祭りの参加者の子供達をターゲットにして、感じたことを付箋に書いてもらい、大きめのポスターに貼ってもらいました。ポスターには多くの付箋が集まり、「楽しかった」「きてよかった」「ありがとう」などの沢山の素敵な言葉が集まり、改めて水祭りを行う意義を見ることができました。



お茶席

今年も例年通り佐々木宗聖先生・佐々木徳昭さんご夫妻にご指導いただきながら、お茶席企画を行いました。約100人もの方々に来ていただきました。神山湧水を使った抹茶とお菓子を提供し、休憩の場を作りました。参加者は美味しい抹茶を楽しみながら一息つくことができました。





活動を振り返って

本年度は多数の縁日企画や5団体によるパフォーマンスを実施することができ、中身の詰まった「水まつり」になりました。当日は、子どもたちを中心に多くの人に楽しんでもらえて、無事に祭りを成功させることができました。

成功の鍵は、受講生が「上賀茂神社の魅力を発信する」という共通認識を持った上で準備を行えた点にあると思います。上賀茂神社の魅力である「水」にまつわる縁日イベントを複数提案し、実行することができました。特に、スタンプラリーは、上賀茂神社を一周できるような仕組みにし、比較的人が少ないエリアにも人流を作ることができました。

広報においては、ポスター、ビラ共に「水」をデザインに取り入れて、神社の雰囲気合ったものを作ることを心がけました。それらの設置、配布は、大学コンソーシアム京都や地域の施設にも協力していただき、より多くの人々の目にとまるように尽力しました。

一方で反省点もあります。多くの企画を実施するにあたり、細かい役割分担を設けていたことで、全体のまとまりがなかったように思います。情報の共有も不十分で、本番直前の各チームの進捗状況について把握できていませんでした。また、授業時間外での時間を確保できず、直前に大詰めになった部分もありました。招聘団体や音響の方などの外部団体との連絡も計画的に行うべきでした。来年度は、これらの反省点を生かして、上賀茂神社の更なる一助になることを期待したいです。

「水まつり」を通して、多世代交流の場を創出し、周辺地域の活性化につながられました。私たちにとっても、歴史ある上賀茂神社で祭りを行えたことは、非常に貴重な経験でした。

最後になりますが、上賀茂神社の「水まつり」担当者様、担当教員の吉野先生、若松先生をはじめ、このような素晴らしい経験をさせていただいた全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

担当教員からのコメント

我々は、世界遺産PBL発足以来、「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」というテーマの下で「賀茂の水まつり」の企画・運営に継続して取り組んでいます。授業運営にあたり、格別のご配慮を頂戴した賀茂別雷神社(上賀茂神社)様に心から御礼申し上げます。また、大学コンソーシアム京都様にも、広報などさまざまな形でご助力いただきました。ありがとうございました。

「水まつり」の運営には、京都産業大学ボランティアサークルNONTs、お茶席担当の佐々木先生、先輩学生などが継続して関わっています。ここ数年コロナの影響で制約が大きかったのですが、今年度はほぼフルスペックで開催することができました。小さなトラブルはありましたが、教員としてもグループワークの意義を再認識させられました。

受講生の皆さんには、「学生の視点」から、何ができたのか、できなかったのか、しっかりと見直し、今後の人生の糧にして頂ければと希望しています。

来年度も上賀茂神社で新たな出会いが積み重ねられることを願っています。

活動資料



〈ポスター〉



〈水まつりについての話し合い〉



〈お茶席の打ち合せ〉



〈着付けの練習〉



〈水まつりの準備風景〉



〈大学コンソーシアム京都様 公式Instagram〉 〈沖縄タイムスプレス様 掲載記事〉 〈京都学生祭典 京炎そでふれ！ パフォーマンス〉



〈縁日〉



〈お茶席〉



〈龍谷大学ジャズ研究会 パフォーマンス〉